

こまえ苑へ

令和3年11月

第80号

青空通信

題字：前理事長 大久保 茂一

特別養護老人ホーム
高齢者デイサービスセンター
地域包括支援センター
居宅介護支援事業所



こまえ苑

発行者 社会福祉法人 狛江福祉会
〒201-0005 東京都狛江市若戸南 四丁目17番17号
TEL 03-3489-2404 (代表)
TEL 03-3489-2417 (居宅介護支援事業所直通)
TEL 03-3489-2422 (地域包括支援センター直通)
FAX 03-3489-2587
<http://www.komaeen.or.jp>



9月8日、特養での敬老会を開催しました。
コロナ禍の中、派手な演出はできませんでしたが、いつもより豪華な昼食を召し上がっていただき、午後には皆様に喜んでいただけるよう、記念品を贈呈させていただきました。
ご利用者皆様がいいつも入浴されている浴室ののれんをリニューアルし、浴室の壁には富士

祝

特養

会

老

寿

山の立派な絵を貼りました。昔の銭湯でよくみかけましたよね。少しでも、露天風呂気分を味わっていただき、お風呂が今よりもさらに楽しみにしてみてくださいね。





特養

こまえ苑祭



椅子から立ち上がるうとしてしまうご利用者様もいて、皆さん元気いっぱい楽しんでいました。
 来年こそは、新型コロナウイルス感染症も終息し、もっと盛大なお祭りができるたらと願うばかりです。

ムなど催し物も行い、思わず車椅子から立ち上がるうとしてしまうご利用者様もいて、皆さん元気いっぱい楽しんでいました。
 他にも、ボウリングや釣りゲームなど催し物も行い、思わず車椅子から立ち上がるうとしてしまうご利用者様もいて、皆さん元気いっぱい楽しんでいました。

9月29日、特養にてこまえ苑祭りを開催しました。
 コロナ禍での開催のため、できるだけ密は避けるように、フロアごとにかれて行いました。
 お祭り気分を少しでも味わってもらえるよう、職員がお神輿を担いで、フロア内を練り歩き、ご利用者様全員に楽しんでもらいたく、各居室すべて回りました。
 一緒になって担いで喜んでくださる方もいて、とても良い笑顔を見せてくださいました。その他にも、ボウリングや釣りゲームなど催し物も行い、思わず車椅子から立ち上がるうとしてしまうご利用者様もいて、皆さん元気いっぱい楽しんでいました。



うんね



敬老会

デイサービスの敬老会は、9月20日、21日の2日間にわたり開催しました。今年も新型コロナウイルス感染症予防のため、ボランティアの方々の参加は見合わせ、職員だけで行いました。

昼食では、縁起物の海老の天ぷらなど「秋の味覚祝御膳」を提供し、ご利用者様はおいしそくに召し上がっていました。



祝

記念に1枚



しだれ柳



浦島太郎の魚釣り竿



赤城山寸劇



タオル記念品

記念品をどうぞ!



敬老の日とは・・・



楽しかったです

両日とも午後は、ご利用者様のお一人おひとりに、苑長から紅白のタオルをお花に見立てた記念品贈呈セレモニーを行い、職員による南京玉簾の演劇からスタート。魚釣り竿や橋、東京タワーなどの技を目の当たりにして拍手喝采。大盛り上がりしました。その後、赤城山の寸劇では、笑い声も聞かれました。

最後は、職員が一堂に会し「森のクマさん」の替え歌を輪唱。間奏部分で、ご利用者様に感謝の言葉を一言ずつお伝えする演出を行い締めくくりました。

特養

オンライン研修

(紙おむつの当て方動画放映会)

9月に介護職員1名が新たに採用され、ベテラン職員を含む3名でオンライン研修に参加しました。今回の講座は①テープタイプ・パンツタイプ ②男性漏れへのアプローチ。職員は紙おむつの適正サイズの見極め方などを再確認でき、最後はメーカーの担当者と質疑応答で終了しました。ご利用者様に少しでも快適に過ごしていただけるよう今後も努力していきます。



こまえ苑 食事形態紹介



ソフト食



ペースト食



硬めペースト食

こまえ苑では、ご利用者の状態に合わせたお食事の提供ができるように、日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類 2021 を参考に6種類の食事形態をご用意しております。主食のご飯も普通、軟飯、全粥、全粥粒ゼリー、ミキサー粥ゼリーと5種類あり、硬さや離水に配慮して調理し、体調や咀嚼嚥下機能に合わせて選択することができます。このように調理方法や盛り付け等を工夫し、ご利用者様には、なるべく多くの食材や料理を楽しんでいただけるようにしています。

また、希望に応じて好き嫌い等の嗜好や、疾患に配慮したお食事の提供を行っております。

これからも皆様の認知機能や摂食嚥下機能が低下しても、おいしく食べる楽しみを得られるように努めてまいります。



常食



軟菜一口大食



押しつぶし食

感染症対策機器を整備しました

令和3年度公益事業振興補助事業（新型コロナウイルス緊急支援整備事業）により、公益財団法人JKA（競輪・オートレース）様から助成を受けサーマルカメラ1台、空間除菌脱臭機4台を整備しました。

以前は、来客者等の体温を職員が一人ひとり測っていましたが、今では受付で各自が一瞬で測ることができるようになりました。また、特養に



導入するパナソニック製のジアイーノは微弱な次亜塩素酸を噴霧することができ、ウイルスの除菌と脱臭を行うことができます。最先端の機器です。今後もこれらを活用し感染予防を徹底してまいります。



ボランティア紹介

（順不同・敬称略・7月1日以降9月30日現在まで活動いただいた皆様。なお、掲載の承諾を得た方に限ります。）

継続的に活動いただいている方

【園芸】 家後幸恵・竹村文孝・永野恵
【包括】 藤平真一

いつもありがとうございます。
ご紹介させていただいた方以外

にも多数の方々のご協力を頂戴しております。今後ともよろしくお願致します。

ご寄付ありがとうございます

小野寺栄・匿名者2名
（令和3年8月1日〜9月30日）
お断り：…承諾をいただいた個人の方のみ氏名を掲載させていただきます。
おります。